

ゼッケン③

HKS関西サービス ランサーRSエボリューション

ドライバー:向井敏行
ナビゲーター:島田和久



ナビの島田さんはHKS関西のランサー担当主任。開発、コンピューターセッティング、データ取りなどなんでもこなす。

HKS関西の心意気仕様はあくまで、まんまストリート

「あくまで普段使用しているそのままの状態に参加することに意義がある」と、優勝向井。そしてランエボはキャンボンボールのために特別なことはせずに参加、見事に走り抜いた。

クルマ自体は以前のままだが、今回はリップと、リヤスポイラーが新しくなっている。

HKSコンカムに、メタル強化ガセット、強化フューエルポン

プ、オリジナルフロントパイプ、リーガルマフラーなどを組み込み、FICCON、GCCIIなどで制御、他はすべてノーマルだが、350psを発生している。以前と異なる部分は、エアフロレスのVPC仕様から、細かいアクセルワークに向いているエアフロを使用のレジエトロとなっている点と、ROMを、レプリミッターありと、なしの2種類用意したことだ。



夜間のトラブルに備え、蛍光灯も持参。タイヤも2本、「いっぱい積めますランサーは」。



室内もほぼノーマルだが、センターコンソールには、1Pモニターなど各種メーターが入る。オートテイルがなくても寂しくないのだから。



一見、ノーマルだが、350psを絞り出す。ターボのコンプレッサーの吸気を持つ直ぐに直ぐに、パワーフロとバッテリーをノーマルとは逆に配置している。

足まわりもストリート用だった。が、問題となりそうなのは、ウェットだったおかげで特に苦労はなかったようだ。

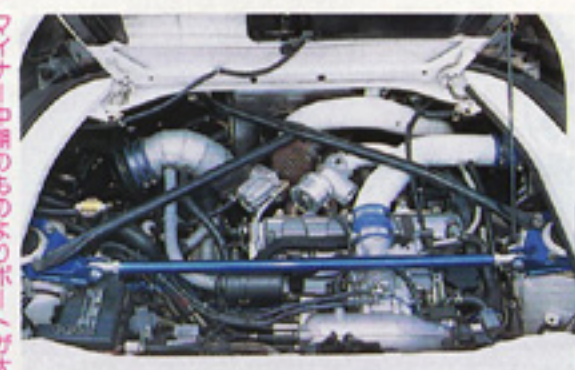
ゼッケン④

ガレージ福井SPL "打倒シルビア"MR2

ドライバー:横山耕治
ナビゲーター:巨橋徹也



「これからはMR2だ」という路前屋・横山。ナビのシングルベル巨橋は、新しい外見とは裏腹になんでもオマカセの頼りになるメカ。



マイナー中期のものよりポートが大きいなど、現行の3SGはヘッドが進化しているのだが、含めるとほぼ同じ。マイナー中期のエンジンでEXマニの取り付けをしてみたのだ。それでも速かったのはエライ。

ゼロヨン、最高速ねらいめ T04Sの高速回転パワー

MR2なのに、ジムカーナやサーキットねらいではなく、ゼロヨンと最高速仕様で、ガレージ福井らしい。得意分野に照準を定めるのも、割り切りのひとつ。でも、曲がるのが苦手な横山さんにとっては、コイツがストリート仕様なのだ。

エンジンは高回転パワーねらいで、T04Sをチョイス。試作カムとHKS鍛造87度鍛造ピストン、マインズCP+FICCON(オリジナルROM)などで、現状で約500ps。が、マイナー中期の3SGから型取りしたEXマニホルドと、フロントパイプが、現行3SGのヘッドに合わせ、さらに時間が迫っていたのでそれを流用して、無理やりくっつけてしまった。「仕上がりはとっても不満です」という横山さんだ。

しかし室内はお得意のレカロ、&サンスイオーディオで長距離もバッチリ。加えてGPSも装備した、快適キャンボンボール仕様なのだ。



トランクにウォータータンクや燃料ポンプを搭載してしまったため、車載できたのはたったこれだけ。



快適クルージングを目指したGPSやオーディオだが、周知の通りではレプリミッターのCGがハイテロしすぎて、実走ではなかなか楽しめない。